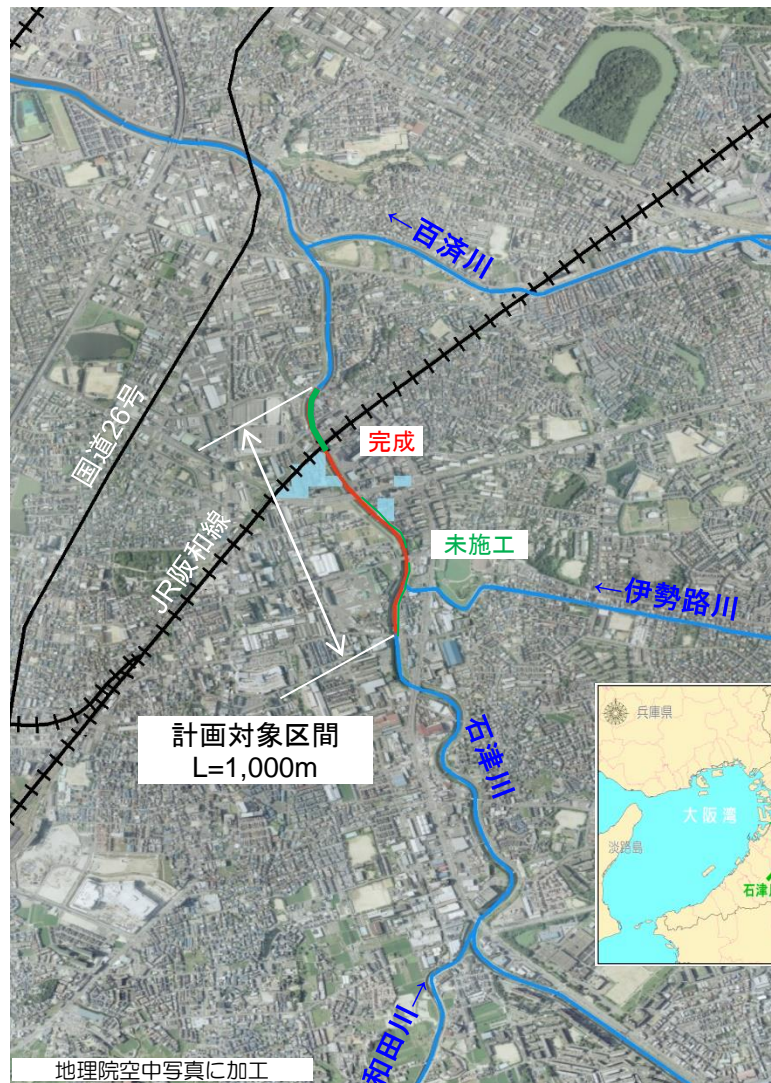

石津川水系石津川の河川整備の事業評価について

石津川水系石津川の河川整備の事業評価に対する
主な意見と回答について（府民意見募集結果）

1. 事業概要

事業内容

令和5年度 第2回河川整備審議会資料より抜粋



流域市町：堺市、和泉市、大阪狭山市

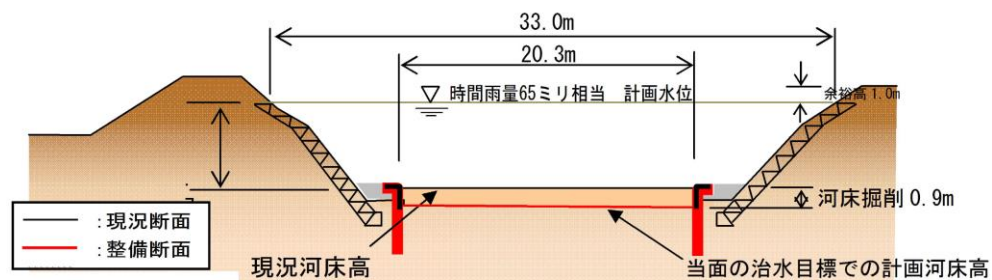
指定区間延長：30.5km

流域面積：78.0km²

石津川では、時間雨量65ミリ程度の降雨(30年に1回程度発生するおそれのある降雨)による床上浸水を防ぐことを当面の治水目標として、治水安全度の向上を図る。

河床掘削により流下能力の向上を図る。

石津川の浸水範囲には国道26号やJR阪和線・南海本線などの重要な道路や鉄道が位置する。



整備断面例 (3.9km地点)

改修前



改修後



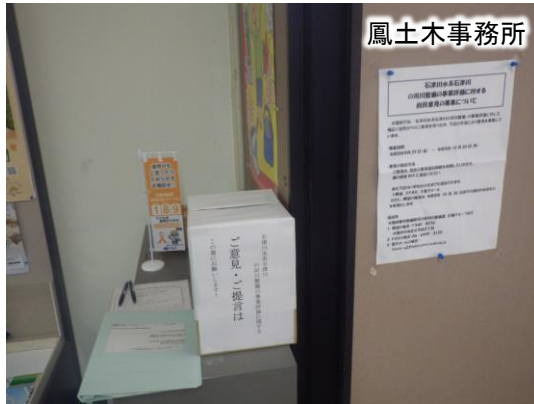
河川名	整備対象区間	整備延長	進捗状況
石津川	宮本橋～平岡大橋 (2.9km～3.9km)	約1.0km	整備済 : 約 0.6km 残工事 : 約 0.4km

【図書の縦覧】

➤ 意見募集期間：令和5年9月29日（金）から令和5年10月30日（月）まで

縦覧図書

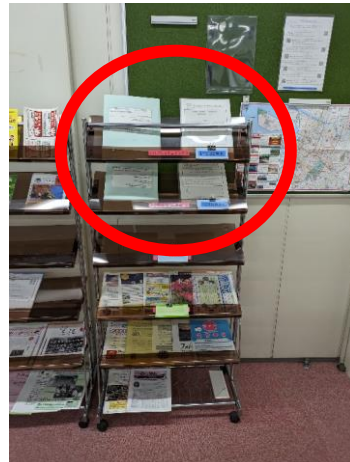
- 第2回 河川整備審議会資料（R5.9.20）
 - ・河川改修事業の再々評価調書
 - ・石津川水系石津川の河川整備の事業評価について



鳳土木事務所



堺市市政情報センター



縦覧場所

- 以下の13箇所
 - ・大阪府府政情報センター（大阪府庁本館1階）
 - ・大阪府都市整備部河川室（大阪府庁別館4階）
 - ・大阪府鳳土木事務所
 - ・大阪府和泉市役所（都市デザイン部 都市整備室）
 - ・大阪府大阪狭山市役所（水資源部 治水対策グループ）
 - ・大阪府堺市役所（建設局 土木部 河川水路課）
 - ・大阪府堺市各区役所（堺区、北区、中区、西区、東区、南区、美原区）



石津川水系石津川の河川整備の事業評価に対する府民意見募集について

【幅広い意見募集】

- 意見募集期間: 令和5年9月29日(金)から令和5年10月30日(月)まで
- 府民の皆様から幅広くご意見を募集するため、ホームページ掲載に加え、「大阪府公式 X(旧Twitter)」からも意見募集の案内を広報。

【ホームページ掲載】

大阪府(河川室)

石津川水系の河川整備の事業評価に対する府民意見募集について

大阪府では、建設事業の効率性及び実施過程の透明性の向上を図ることを目的として、建設事業の実施や継続の可否を判断する建設事業評価を実施しています。このうち、河川事業・ダム事業において一定の要件を満たす事前評価及び再評価にあたっては、学識経験者等で構成される「大阪府河川整備審議会」の意見を聴き、その意見を尊重して対応方針を決定します。同審議会においては、透明性の一層の向上のため、このたび、石津川水系石津川の河川整備の事業評価について、府民の皆様のご意見を募集します。なお、ご意見については、下記要領に従い提出をお願いします。

対象事業名
石津川水系石津川の河川整備について

1. 募集対象項目

石津川水系石津川の河川整備の事業評価

[石津川水系石津川の河川整備の再評価調査 \[Wordファイル/97KB\]](#)

[石津川水系石津川の河川整備の再評価調査 \[PDFファイル/340KB\]](#)

[石津川水系石津川の河川整備の事業評価について \[その他のファイル/17.14MB\]](#)

[石津川水系石津川の河川整備の事業評価について \[PDFファイル/3.27MB\]](#)

2. 募集期間

令和5年9月29日金曜日 9時00分 から 令和5年10月30日月曜日 24時00分 (※郵送の場合は消印有効)

関係自治体ホームページによる意見募集の広報

【大阪府からのお願い】大和川水系西除川ブロック西除川及び石津川水系石津川の河川整備の事業評価に対する府民意見の募集について

更新日: 2023年10月2日

意見募集について

大阪府では、建設事業の効率性及び実施過程の透明性の向上を図ることを目的として、建設事業の実施や継続の可否を判断する建設事業評価を実施しています。府民の皆様のご意見を募集しますので、ご協力をお願いいたします。

対象水系

- ・大和川水系西除川ブロック西除川
- ・石津川水系石津川

募集期間

令和5年9月29日(金曜日)～令和5年10月30日(月曜日)

出典: 大阪狭山市HP

閲覧方法

- (1) 以下からダウンロード
- (2) 紙媒体で閲覧可能な公衆場所
 - ・市政情報センター(市役所高層館3階)
 - ・河川水務課(市役所高層館2階)
 - ・市政情報コーナー(堺区を除く各区役所)

石津川水系石津川の河川整備の事業評価 (PDF: 8.33KB)
大和川水系西除川ブロック西除川の河川整備の事業評価 (PDF: 3.662KB)
石津川水系石津川の河川整備の事業評価に対するご意見へご提案 (PDF: 89KB)
大和川水系西除川ブロック西除川の河川整備の事業評価に対するご意見へご提案 (PDF: 90KB)

意見の提出方法

専用の意見用紙を提出し、河川水務課(市役所高層館2階)及び市政情報コーナー(堺区を除く各区役所)に設置の投函箱に投入をお願いします。(用紙も同じところあります。)

また、(1) 郵送、(2) FAX (3) 電子メールでも提出頂けます。

提出先

大阪府都市整備部河川室河川整備課 計画グループあて

- (1) 郵送の場合
〒540-8570 大阪府中央区大手前2丁目
- (2) FAXの場合
06-6949-3129
- (3) 電子メールの場合
kasei-g23@gbox.pref.osaka.lg.jp

「大阪府公式 X(旧Twitter)」からの意見募集の広報



もすやん@大阪府広報担当副知事

@osakaprefPR

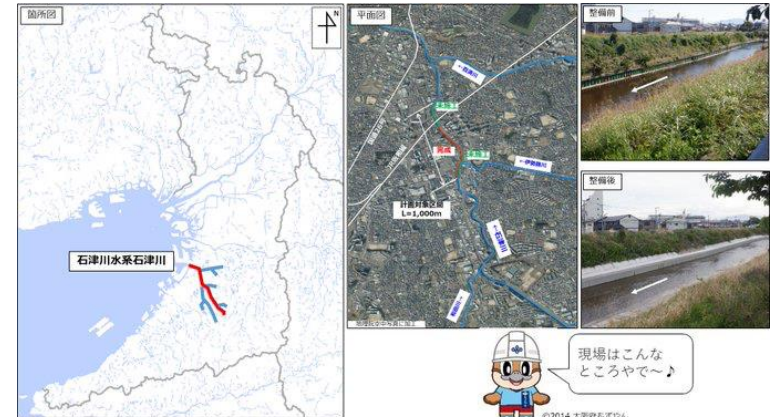
＼府民意見募集中／

西除川と石津川で、安全な川にするための工事をしているねん！みんなの意見を聞かせてな♪詳しくはこちらをチェック☆

○西除川について
pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/kei...

○石津川について
pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/kei...

#土木もすやん #インフラへの理解促進



府民意見募集結果

いただいたご意見の総数は、7通

項目	件数
1. 治水対策に関するもの	1件
2. 事業進捗の見込み	5件※1
3. その他	1件
【合計】	<u>7件</u>

※1 5件のうち、1件は「公表を希望しない」と回答

石津川水系石津川の河川整備の事業評価に対する府民意見募集について

1. 治水対策に関するもの

<p>いただいた ご意見 (1件)</p>	<p>①時間雨量65mm程度の雨による洪水を対象に整備を行うと書いてあるが、それ以上の雨が降った場合はどうなるのか。今後整備は行われるのか。</p>
<p>いただいたご意見に対する 事業者の回答(案)</p>	<ul style="list-style-type: none">➤ 石津川では、時間雨量65ミリの降雨(30年に1回程度発生するおそれのある降雨)による床上浸水を防ぐことを当面の治水目標として河川整備を行っております。➤ 現時点では、現河川整備計画における当面の治水目標の達成を優先して整備を進めてまいります。➤ 現在、大阪府河川整備審議会治水専門部会にて将来の気候変動の影響により降雨量が増大するとの想定の下、検討を進めております。 ※大阪府河川整備審議会治水専門部会 https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/keikaku/reiwa5.html➤ また、国において、全国各地で水災害が激甚化・頻発化していること、さらに今後の気候変動による影響を踏まえ、河川だけでなく、あらゆる関係者が協働して、流域全体で治水対策を行う「流域治水」を推進しているところです。➤ 大阪府では、当面の治水目標達成後も浸水リスクはあることから、避難に関する取組(「逃げる」施策)として、現況及び河川整備後の氾濫や浸水の可能性を示した「大阪府洪水リスク表示図」の公表や河川水位や河川画像など、府民の避難に資する情報発信を行っております。これらの情報を活用し、適切な避難行動を取っていただくようお願いします。 ※国土交通省 流域治水の推進 https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/index.html 石津川水系流域治水プロジェクト https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/42716/00000000/11_isidugawasuikei.pdf 大阪府洪水リスク表示図 https://www.river.pref.osaka.jp/ 大阪府河川防災情報 https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html 大阪防災ネット(防災ハザードマップ) https://www.osaka-bousai.net/27000/hazardmap.html

石津川水系石津川の河川整備の事業評価に対する府民意見募集について

2. 事業進捗の見込みに関するもの

※うち非公表1件
ご意見(5件)
いただいた

- ①近年、豪雨による川の氾濫などの自然災害が全国的に頻発している中で毎年安全な川に向け、改修工事を石津川で行っていただいております。引き続き、河川改修の早期完了に向けて頑張ってください。
自然環境や生物の生息なども考慮し、魚道の整備などを行っていることは、素晴らしいことだと思う。
- ②最近1年に1回程度、避難指示がでるので、早く整備して欲しい。
- ③堺市(津久野駅付近)に越してきて2年になります。堺に越してきてから既に2回、大阪市より妻の実家へ避難しました。最近の天気は雨が降らないか大雨かの2択のような天気で、雨が降ると、避難指示がでないか不安にかられます。石津川(イトーヨーカドー付近)は川の両サイドに傾斜があります。その分氾濫した川水が流れ込んでくるスピードが速いと想定できます。
私の家庭では4月に息子が生まれました。赤ちゃんと一緒に避難するには、大量の準備物が必要です。避難所の津久野小学校が比較的近くにあるとはいえ、赤ちゃんを連れた避難には不安しかありません。ぜひ石津川の改修事業は継続頂きたいと思います。
- ④周囲の人間が氾濫のストレスを感じにくくなるという点で事業を進めることには賛成です。水生生物の生活環境にも配慮はされていると思いますので懸念点は私はありません。長く持たせられるような整備を望みます。

事業者の回答(案)
ご意見に対する
いただいた

- 大阪府河川整備事業にご理解いただきありがとうございます。
- 石津川では、時間雨量65ミリの降雨(30年に1回程度発生するおそれのある降雨)による床上浸水を防ぐことを当面の治水目標として河川整備を行っております。今後も、早期に当面の治水目標が達成できるよう、事業の進捗に努めます。
- 河川工事を実施する際は、河川内に生息する水生生物等にも配慮し、進めてまいります。
- 現在、大阪府河川整備審議会治水専門部会にて将来的な降雨量、流量増大を想定した場合の治水対策の進め方について検討を進めております。
※大阪府河川整備審議会治水専門部会 <https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/keikaku/reiwa5.html>
- また、国において、全国各地で水災害が激甚化・頻発化していること、さらに今後の気候変動による影響を踏まえ、河川だけでなく、あらゆる関係者が協働して、流域全体で治水対策を行う「流域治水」を推進しているところです。
- 大阪府では、当面の治水目標達成後も浸水リスクはあることから、避難に関する取組(「逃げる」施策)として、現況及び河川整備後の氾濫や浸水の可能性を示した「大阪府洪水リスク表示図」の公表や河川水位や河川画像など、府民の避難に資する情報発信を行っております。これらの情報を活用し、適切な避難行動を取っていただくようお願いいたします。
※国土交通省 流域治水の推進 <https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/index.html>
石津川水系流域治水プロジェクト https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/42716/00000000/11_isidugawasuikei.pdf
大阪府洪水リスク表示図 <https://www.river.pref.osaka.jp/>
大阪府河川防災情報 <https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html>
大阪防災ネット(防災ハザードマップ) <https://www.osaka-bousai.net/27000/hazardmap.html>

3. その他 調節池整備事業およびため池の維持管理について

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(1件) いただいたご意見</p>	<p>①2020年8月に堺市を襲ったゲリラ豪雨で堺市南区下流域の中区と西区で河川が氾濫し被害が出た。地球温暖化時代を迎え近畿圏でも今後、ますます局所的な豪雨災害に見舞われることが予想される。</p> <p>水源から下流域の河川の氾濫を防止するためには大阪北部の寝屋川水系で整備されているような大規模な調整池整備事業が必要かと思うが整備予定はあるのか。</p> <p>堺市中区の「ため池」水賀池は埋め立てと商業施設の誘致が予定されている。埋め立て後は地下に貯水槽が設けられるとのことだが従来規格の内で、今後、雨量が想定を上回った場合の不安が懸念される。</p> <p>堺市内も90年代までは「ため池」が数多く存在したが北区、中区では都市化の進展でそのほとんどが姿を消した。もし大阪南部において「大規模調整池整備事業」が実施されないとすれば、残された「ため池」の維持と保全がなお重要な課題になるのではないか。</p> <p>民間所有の「ため池」の多くが維持保全のための担い手不足と資金不足に喘いでいると聞く。民間所有の「ため池」に対する施策強化と公有への移行検討も併せて必要ではないか。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">いただいたご意見に対する事業者の回答(案)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 石津川水系河川整備計画の策定にあたり、河川改修、調整池等を比較検討し、実現性や経済性等の観点から河川改修による整備を採用しています。 ➤ 開発により河川への流出量が増加する場合には、事業者に対して流出を抑制する施設を設置し、開発後に河川への流出量が増加しないよう市と連携して指導しております。 ➤ 治水安全度の更なる向上のために、流域のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる「流域治水」を進めています。この中で、ため池所有者とも協働して、ため池に雨水を一時的に貯留する治水活用等についても進めております。 ➤ 現在、大阪府河川整備審議会治水専門部会にて将来の気候変動の影響により降雨量が増大するとの想定の下、検討を進めております。 ※大阪府河川整備審議会治水専門部会 https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/keikaku/reiwa5.html

対応方針(案)

事業の必要性等

- 石津川では、R5.6.2の豪雨（24時間最大雨量167mm）にて、水位が上昇し、避難指示が発令された。また、気候変動に伴う洪水リスクが増大する中で、浸水範囲内家屋が増加するなど、河川整備を進めることにより浸水被害を解消する必要性は高まっている。
- 現時点で再度、石津川の費用対効果を算出したところ、B/Cは1.2であり、河川整備の経済的便益性も確認できる。

事業の進捗の見込み

- 石津川水系河川整備計画（H27.1策定）及び、大阪府都市整備中期計画（案）（R3.3改訂）に位置付けて事業を進めており、R4年度末で、事業の進捗率は、石津川で50%である。これまでも河道改修を推進し、治水安全度の向上に努めている。

コスト縮減や代替案等の可能性

- 河床掘削により発生する土砂をストックヤードを活用しつつ他工事への流用を図る。維持管理用の恒久坂路を使用することによりコスト縮減及び施工効率の向上を図る。



事業の継続

令和5年度第4回大阪府河川整備審議会【資料4-2】の修正について

・令和5年度第4回大阪府河川整備審議会【資料4-2 石津川水系石津川の河川整備の事業評価について】におきまして、委員の意見を受けて、以下のとおり修正を行いました。

	修正前	修正後
ページ	5ページ	5ページ
修正箇所	<ul style="list-style-type: none"> 石津川では、時間雨量65ミリの降雨(30年に1回程度発生するおそれのある降雨)による床上浸水を防ぐことを当面の治水目標として河川整備を行っております。 現時点では、現河川整備計画における当面の治水目標の達成を優先して整備を進めてまいります。 全国的な近年の水災害による甚大な被害を踏まえて、流域のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる「流域治水」を推進してまいります。その中で、大阪府では、避難に関する取組(「逃げる」施策)として、地先における現況及び整備後の河川氾濫や浸水の可能性を示した大阪府洪水リスク表示図の公表や河川の水位や河川画像など、府民の避難に資する情報発信を行っております。これらの情報を活用し、適切な避難行動を行ってください。 <p>※国土交通省 流域治水の推進 https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/index.html 大阪府洪水リスク表示図 https://www.river.pref.osaka.jp/ 大阪府河川防災情報 https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html 石津川水系流域治水プロジェクト https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/42716/00000000/11_isidugawasuikei.pdf</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在、大阪府河川整備審議会治水専門部会にて将来の気候変動の影響により降雨量が増大するとの想定の下、検討を進めております。 <p>※大阪府河川整備審議会治水専門部会 https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/keikaku/reiwa5.html</p>	<ul style="list-style-type: none"> 石津川では、時間雨量65ミリの降雨(30年に1回程度発生するおそれのある降雨)による床上浸水を防ぐことを当面の治水目標として河川整備を行っております。 現時点では、現河川整備計画における当面の治水目標の達成を優先して整備を進めてまいります。 現在、大阪府河川整備審議会治水専門部会にて将来の気候変動の影響により降雨量が増大するとの想定の下、検討を進めております。 <p>※大阪府河川整備審議会治水専門部会 https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/keikaku/reiwa5.html</p> <ul style="list-style-type: none"> また、国において、全国各地で水災害が激甚化・頻発化していること、さらに今後の気候変動による影響を踏まえ、河川だけでなく、あらゆる関係者が協働して、流域全体で治水対策を行う「流域治水」を推進しているところです。 大阪府では、当面の治水目標達成後も浸水リスクはあることから、避難に関する取組(「逃げる」施策)として、現況及び河川整備後の氾濫や浸水の可能性を示した「大阪府洪水リスク表示図」の公表や河川水位や河川画像など、府民の避難に資する情報発信を行っております。これらの情報を活用し、適切な避難行動を取っていただくようお願いいたします。 <p>※国土交通省 流域治水の推進 https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/index.html 石津川水系流域治水プロジェクト https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/42716/00000000/11_isidugawasuikei.pdf 大阪府洪水リスク表示図 https://www.river.pref.osaka.jp/ 大阪府河川防災情報 https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html 大阪防災ネット(防災ハザードマップ) https://www.osaka-bousai.net/27000/hazardmap.html</p>

	修正前	修正後
ページ	6ページ	6ページ
修正箇所	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 石津川では、時間雨量65ミリの降雨(30年に1回程度発生するおそれのある降雨)による床上浸水を防ぐことを当面の治水目標として河川整備を行っております。今後も、早期に当面の治水目標が達成できるよう、事業の進捗に努めます。 ➤ 河川工事を実施する際は、河川内に生息する水生生物等にも配慮し、進めてまいります。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 全国的な近年の水災害による甚大な被害を踏まえて、流域のあらゆる関係者が協働し、流域全体で被害を軽減させる「流域治水」を推進してまいります。その中で、大阪府では、避難に関する取組(「逃げる」施策)として、地先における現況及び整備後の河川氾濫や浸水の可能性を示した大阪府洪水リスク表示図の公表や河川の水位や河川画像など、府民の避難に資する情報発信を行っております。これらの情報を活用し、適切な避難行動を行ってください。 <p>※国土交通省 流域治水の推進 https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/index.html 大阪府洪水リスク表示図 https://www.river.pref.osaka.jp/ 大阪府河川防災情報 https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html 石津川水系流域治水プロジェクト https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/42716/00000000/11_isidugawas_uikei.pdf</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 大阪府河川整備事業にご理解いただきありがとうございます。 ➤ 石津川では、時間雨量65ミリの降雨(30年に1回程度発生するおそれのある降雨)による床上浸水を防ぐことを当面の治水目標として河川整備を行っております。今後も、早期に当面の治水目標が達成できるよう、事業の進捗に努めます。 ➤ 河川工事を実施する際は、河川内に生息する水生生物等にも配慮し、進めてまいります。 ➤ 現在、大阪府河川整備審議会治水専門部会にて将来的な降雨量、流量増大を想定した場合の治水対策の進め方について検討を進めております。 <p>※大阪府河川整備審議会治水専門部会 https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/keikaku/reiwa5.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ また、国において、全国各地で水災害が激甚化・頻発化していること、さらに今後の気候変動による影響を踏まえ、河川だけでなく、あらゆる関係者が協働して、流域全体で治水対策を行う「流域治水」を推進しているところです。 ➤ 大阪府では、当面の治水目標達成後も浸水リスクはあることから、避難に関する取組(「逃げる」施策)として、現況及び河川整備後の氾濫や浸水の可能性を示した「大阪府洪水リスク表示図」の公表や河川水位や河川画像など、府民の避難に資する情報発信を行っております。これらの情報を活用し、適切な避難行動を取っていただくようお願いします。 <p>※国土交通省 流域治水の推進 https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/index.html 石津川水系流域治水プロジェクト https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/42716/00000000/11_isidugawas_uikei.pdf 大阪府洪水リスク表示図 https://www.river.pref.osaka.jp/ 大阪府河川防災情報 https://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/public/ja/gis.html 大阪防災ネット(防災ハザードマップ) https://www.osaka-bousai.net/27000/hazardmap.html</p>

	修正前	修正後
ページ	7ページ	7ページ
修正箇所	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 石津川水系河川整備計画の策定にあたり、河川改修、調整池等を比較検討し、実現性や経済性等の観点から河川改修による整備を採用しています。 ➤ 開発により河川への流出量が増加する場合には、事業者に対して流出を抑制する施設を設置し、開発後に河川への流出量が増加しないよう市と連携して指導しております。 ➤ 治水安全度の更なる向上のために、流域のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる「流域治水」を進めています。この中で、ため池所有者とも協働して、ため池に雨水を一時的に貯留する治水活用等についても進めております。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 石津川水系河川整備計画の策定にあたり、河川改修、調整池等を比較検討し、実現性や経済性等の観点から河川改修による整備を採用しています。 ➤ 開発により河川への流出量が増加する場合には、事業者に対して流出を抑制する施設を設置し、開発後に河川への流出量が増加しないよう市と連携して指導しております。 ➤ 治水安全度の更なる向上のために、流域のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる「流域治水」を進めています。この中で、ため池所有者とも協働して、ため池に雨水を一時的に貯留する治水活用等についても進めております。 ➤ 現在、大阪府河川整備審議会治水専門部会にて将来の気候変動の影響により降雨量が増大するとの想定の下、検討を進めております。 <p>※大阪府河川整備審議会治水専門部会 https://www.pref.osaka.lg.jp/kasenseibi/keikaku/reiwa5.html</p>